

# 就職を支援する 多様な講座が続々

専修大学では年間100講座にも及ぶ就職支援プログラムを実施している。入念に準備することが就活成功のカギとなる。学生たちはこうした講座を活用し、就活に挑む。

## 緊張感あふれる面接を体験できる！ 1泊2日の就職合宿研修会



↑2日目の模擬面接の様子。面接官は株式会社エトワール海渡の有賀氏

本番さながらの模擬面接などを行う1泊2日の「就職合宿研修会」が幕張国際研修センター（千葉）で12月から2月にかけて3回開催され、延べ240名の学生が参加した。2月3、4日（日、月）に行われた第3回の研修会取材した。

合宿1日目はグループワークを通して自己分析に取り組み、2日目は模擬面接に挑む。12月に続き今回で2度目の合宿参加という國藤玲奈さん（経済4<sup>※</sup>）は模擬面接を終え、「前は緊張で頭が真っ白になってしまいましたが、その反省を活かして練習してきたので、今回は自己PRもしっかりと語れました」と手応えを語る。

体育会ラグビー部の仲間と参加したという橋本広基さん（経営4<sup>※</sup>）は「周りの学生の就活に臨む熱意が伝わってきました。面接では、打ち込んできたラグビーのエピソードはたくさんあっても、実際に伝えるのが難しかったです。具体性に欠けると指摘されました」と反省の様子。

緊張感あふれる雰囲気の中で、自分をしっかりとアピールすることの難しさを学生は身をもって知ったようだ。研修の最後には、面接官を務めた企業の



↑2日目の最後、企業採用担当者によるパネルディスカッション



↑國藤さん



↑橋本さん

人事担当者によるパネルディスカッションが開かれ、模擬面接を振り返る。

「緊張するのをどうすればいいか」という学生の質問に対し、株式会社エトワール海渡常務取締役の有賀俊文氏は「緊張するのが当たり前。緊張したから落ちるということはない。大切なのは、どんな質問が来ても答えられるように準備して、いろんな引き出しを用意しておくこと」とアドバイスする。

3月の就活解禁を前に、学生が得たものは大きい。